

当館における新型コロナウイルス感染者の発生について

1 概要

国立国会図書館の外部委託業者の社員1名（東京本館（千代田区永田町）勤務）が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

なお、当該社員は自宅療養中です。

2 経緯

7月29日（木） 同居家族の陽性が判明

8月2日（月） 発熱等の症状を発症

8月3日（火） PCR検査受検。同日夜に陽性判明

3 社員の従事状況等

当該社員は、国立国会図書館東京本館内に常駐して、利用者サービス業務に従事しています。同社員は、7月30日（金）以降、当館には出勤していません。

同社員は、出勤前の検温、勤務中のマスク着用、手指のアルコール消毒等の感染拡大防止策を順守しておりました。カウンターにおいては飛沫防止ビニール等の対策も講じており、利用者との濃厚接触にはあたりません。また、現時点で、他の社員に発熱等の症状はございません。なお、国立国会図書館東京本館では、平素からカウンターや閲覧席等の消毒作業を行っております。

今後とも、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、的確に対応してまいります。

● 本件問合せ先

総務部総務課広報係 03-3506-3307（直通）